

## 「ええとこやんか三重」県と市町の移住促進検討会議

### (1) 取組目標

県と市町の連携や市町同士の横のつながりの強化を図り、全県的に移住者を受け入れる体制の整備を検討します。

### (2) 検討メンバー

市 町		県
津市／政策課 ／美杉総合支所地域振興課	木曾岬町／総務政策課	◎地域連携部地域支援課
四日市市／政策推進課	東員町／政策課	南部地域活性化推進課
伊勢市／企画調整課	菰野町／企画情報課	
松阪市／飯南地域振興局 地域振興課	朝日町／企画情報課	
桑名市／政策経営課	川越町／企画情報課	
鈴鹿市／住宅政策課	多気町／企画調整課	
名張市／地域活力創生室	明和町／防災企画課	
尾鷲市／市長公室	大台町／企画課	
亀山市／企画政策室	玉城町／総合戦略課	
○鳥羽市／企画財政課	度会町／政策調整課	
熊野市／市長公室	大紀町／企画調整課	
いなべ市／都市整備課	南伊勢町／行政経営課	
志摩市／総合政策課	紀北町／企画課	
○伊賀市／地域づくり推進課	御浜町／企画課	
	紀宝町／企画調整課	

※「◎」は代表、「○」は副代表

### (3) 現状および課題

日本の総人口が減少している中で、東京圏への人口流入は続いており、地方における状況はより厳しいものとなっています。

県内の市町において、既に移住促進のためのさまざまな取組が進められていますが、そうした取組をさらに進めていくために、県と市町の連携や市町同士の横のつながりの強化を図り、全県的に移住者を受け入れる体制の整備を進めていく必要があります。

### (4) 開催実績

- 第1回 平成28年4月12日
- ①代表・副代表の選任について
  - ②三重県の移住施策について

			③平成28年度移住相談会等について
			④移住者数の把握について
			⑤市町の取組状況について
			⑥その他の取組について
第2回	6月28日	研修会	移住希望者にとっての「地域」の魅力を考える
第3回	9月14日	実地研修	
	15日		『まち歩き』で『まち』の魅力や課題を発見する手法を学ぶ
第4回	11月21日	研修会	自分たちの地域におけるライフスタイルの魅せ方
第5回	平成29年2月23日		①平成29年度移住関連予算について
			②平成29年度移住相談会等について
			③移住者数の把握について
			④移住・交流ポータルサイト、移住パンフレットについて

## (5) 検討状況

### ①第1回検討会議

- ・代表に地域連携部地域支援課長、副代表に鳥羽市企画財政課移住・定住係長および伊賀市地域づくり推進課移住交流係長を選出しました。
- ・三重県と市町が連携して実施する「ええとこやんか三重」県と市町の移住促進事業など三重県の移住施策や移住相談会、移住者数の把握について情報共有を図りました。
- ・各市町における特徴的な取組、移住相談事例などの先進事例や解決に向けた悩みを抱えている課題について意見交換を行い、実務のブラッシュアップを図りました。

### ②第2回検討会議

- ・NPO法人ふるさと回帰支援センターの嵩副事務局長を講師に迎え、移住者に選ばれる地域づくりのために、地域の暮らし（ライフスタイル）をどう魅せるかについて講義を受けた後、各市町が班別に分かれ、自分たちの地域をどう効果的にアピールするかについて検討、議論しました。

### ③第3回検討会議

- ・引き続き、嵩副事務局長を講師に迎え、県内2地域（鳥羽市および亀山市）で、仮想の移住希望者のニーズにあった移住先を探す「まち歩き」を実施し、移住希望者の立場に立って「まち」を視ることで、改めて「まち」の魅力や課題を発見する手法を学びました。

### ④第4回検討会議

- ・引き続き、嵩副事務局長を講師に迎え、各市町が、自分のまちで実現できるライフスタイルをアピールできる写真とキャッチコピーを持ち寄って、班別に分かれて議論することで、自分のまちの強み・弱みを見つめ直すとともに移住希望者への魅せ方を検討しました。

## ⑤第5回検討会議

- ・平成29(2017)年度に三重県が実施する事業や移住相談会、平成28(2016)年度の移住者の傾向、三重県移住・交流ポータルサイト「ええとこやんか三重」の利便性向上を図るための改修等について情報共有を行いました。
- ・各市町における平成28(2016)年度の移住者の傾向や、特徴的な取組などの先進事例、解決に向けた悩みを抱えている課題について意見交換を行い、実務のブラッシュアップを図りました。

## (6) 取組成果

- ・地域の暮らし(ライフスタイル)の魅せ方について議論したことで、平成29(2017)年1月に改訂発行したパンフレット「三重暮らしのススメ」を、各市町における地域の暮らしがより伝わりやすい内容にすることができました。
- ・例年1月に開催される全国フェアにおいても、全体のブース数が増え、競争環境がより厳しくなる中で、1市町あたりの相談件数が前年度の約5件から今年度約9件へ増加するなど、積極的なライフスタイルの発信について一定の成果を得ることができました。

## (7) 今後の方針

三重県への移住者を増加させていくためには、地域の暮らしの魅せ方とあわせて、惹きつけた移住希望者のニーズを引き出し、どう寄り添っていくのか、窓口を通じた移住希望者との信頼関係づくりについて県と市町が情報を共有し、ブラッシュアップしていくことが必要になります。

そのため、平成29(2017)年度も当検討会議を設置し、引き続き検討を進めていきます。

## (8) 取組に対する自己評価

目標に対する取組成果がおおむね発揮されました。

(判断理由等)

今年度に改訂発行したパンフレットを各市町における地域の暮らしがより伝わりやすい内容とすることができ、また全国フェアにおいても1市町あたりの相談件数が増加するなど、積極的なライフスタイルの発信について、移住者を受け入れる体制の整備につながる一定の成果を得ることができました。